

ウェビナーシリーズ

ゲノム編集のいま

～産業・食品への応用と社会的受容～

開催方法:オンライン配信

主催:日本学術会議 農学分科会・産業生物バイオテクノロジー分科会

気候変動や食料問題、生物資源の持続的利用といったグローバルな課題が深刻化する中、ゲノム編集技術は産業・食品分野における革新的なソリューションとして世界的に注目を集めています。しかし、その技術的ポテンシャルとは裏腹に、「安全性」や「社会的受容性」に対する理解や議論は不十分であり、規制制度も国によって大きく異なるなど、科学と社会のギャップが課題となっています。

産業生物バイオテクノロジー分科会では、ゲノム編集技術の現状と課題を多角的に捉え、科学的知見と社会的視点の融合を目指したウェビナーシリーズを開催します。本シリーズでは、技術動向、国際的な制度比較、サイエンスコミュニケーションのあり方など、専門家による議論を通じて、科学的な事実に基づいた理解を深めるとともに、社会との建設的な対話の糸口を探ります。

第1回 ゲノム編集食品～世界はどのように規制しているのか？

開催日時:2025年6月27日(金) 12:00～13:00

話題提供

立川 雅司 氏

名古屋大学大学院環境学研究科・教授

進行役:磯部祥子・東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

お申込みは下記まで

<https://forms.gle/sn7wb6Nzz4kdS5Mu8>

お問い合わせ: 産業生物バイオテクノロジー分科会

担当 磯部 sisobe@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

